

# Y A M E C I T Y

## A n n i v e r s a r y

福岡県八女市 市制施行70周年記念誌「合併15周年」

八女市、70周年の飛躍



そして、次の未来へ



八女市制施行 70 周年記念誌

- 合併 15 周年 -



八女市制施行 70 周年記念誌

- 合併 15 周年 -

発行 令和 6 年 3 月  
福岡県八女市 企画政策課 秘書係  
〒834-8585 福岡県八女市本町 647 番地  
TEL : 0943-23-1109  
<https://www.city.yame.fukuoka.jp>



昭和29（1954）年4月1日、1町3村の編入合併により誕生した八女市。市民の暮らしを第一に発展を遂げ、現在は県内で2番目に広い市となりました。これからも九州の、日本の八女市として羽ばたいていきます。

1 9 5 4

八女市 history

1 9 5 4 ~ 2 0 2 3

- ・昭和29（1954）年4月1日／八女市誕生
- ・昭和31（1956）年／八女市で福岡県内初となる小学校全校完全給食が実現
- ・昭和35（1960）年／矢部村の日向神ダムが完成し、観光遊覧船就航
- ・昭和36（1961）年／黒木町、矢部村、星野村の三森林組合で県下初の「八女森林組合共販所」を設立
- ・昭和42（1967）年／大島・矢部川間を結ぶ国道3号バイパスが開通
- ・昭和43（1968）年／平和の火が完成
- ・昭和48（1973）年／九州縦貫自動車道の八女インターチェンジが開設／八女地区県営農地開発パイロット事業完了
- ・昭和52（1977）年／「八女福島仏壇」が国の伝統的工芸品に指定／「八女福島の燈籠人形」が国の重要無形民俗文化財に指定／「松延家住宅」が国の重要文化財に指定
- ・昭和53（1978）年／北部九州最大の前方後円墳岩戸山古墳を含む「八女古墳群」が国の史跡に指定
- ・昭和60（1985）年／国鉄矢部線廃止
- ・昭和61（1986）年／八女伝統工芸館開館
- ・平成元（1989）年／星野村の村制100周年を記念して「九州和太鼓フェスティバル」開催
- ・平成2（1990）年／立花町で「第1回立花町観梅会」開催
- ・平成3（1991）年／九州最大級の天体望遠鏡を備えた「星の文化館」開館
- ・平成5（1993）年／上陽町で「全日本きんま選手権」開催
- ・平成7（1995）年／「万灯流し」開始／原爆の火を守る「平和の塔」が星のふるさと公園に建立
- ・平成10（1998）年／「べんがら村」が開館
- ・平成11（1999）年／「旭座人形芝居会館」が開館
- ・平成12（2000）年／「八女津媛浮立館」が開館
- ・平成13（2001）年／「八女提灯」が国の伝統的工芸品に指定
- ・平成14（2002）年／「八女福島の白壁の町並み」が重要伝統的建造物群保存地区に選定
- ・平成17（2005）年／「道の駅たちばな」が開館
- ・平成18（2006）年／八女市と上陽町が合併
- ・平成22（2010）年／八女市と黒木町、立花町、矢部村、星野村が合併し新八女市誕生／「全国茶品評会」で八女茶は10年連続玉露の部の日本一を達成
- ・平成24（2012）年／大韓民国巨済市との姉妹都市協定締結
- ・平成25（2013）年／福岡市天神にアンテナショップ「八女本舗」がオープン
- ・平成26（2014）年以降はP10より掲載

編入) 昭和29年  
福島町、川崎村、忠見村、岡山村

八女市誕生

編入) 平成18年 上陽町 合併) 昭和33年 北川内町、横山村

編入) 平成22年

新八女市

黒木町 合併) 昭和29年 豊岡村、串毛村、木屋村、笠原村

編入) 昭和32年 大淵村

立花町 合併) 昭和30年 光友村、北山村、白木村、迎春村

矢部村

星野村

2 0 2 3

c o n t e n t s

八女市、  
70周年の飛躍

もくじ

02 「巻頭グラビア」

70周年の八女美

06 「市制70周年特別対談」

黒木瞳さんと語る

10 「70周年のあゆみ」(2014~2023)

写真と年表で振り返る激動の10年

16 第一章「飛」

「広大な八女の地を飛ぶ」

・エリアブランドー八女／黒木／

立花／上陽／矢部／星野／

・地域交流拠点

26 第二章「躍」

「次代を創る八女人の活躍」

・八女茶をつくるー八女茶発祥600年

・安心をつくるー防災／福祉

・ひとをつくるー教育／スポーツ

・賑わいをつくるー地域おこし／市民参画

・伝統をつくるー伝統工芸

38 八女の著名人

40 八女市の未来へ(議会議長・市長こあいさつ)

Y A M E C I T Y  
A n n i v e r s a r y

70





巻頭グラビア

# 70周年の 美しい八女の原風景 八女美

時を経ても色あせることなく、  
山の奥まで色濃く広がる  
その美しい八女の原風景は、  
自然と人が共に生きてきた絆の証。  
いきいきとあたたかい  
これぞ、八女が誇るふるさとの姿。



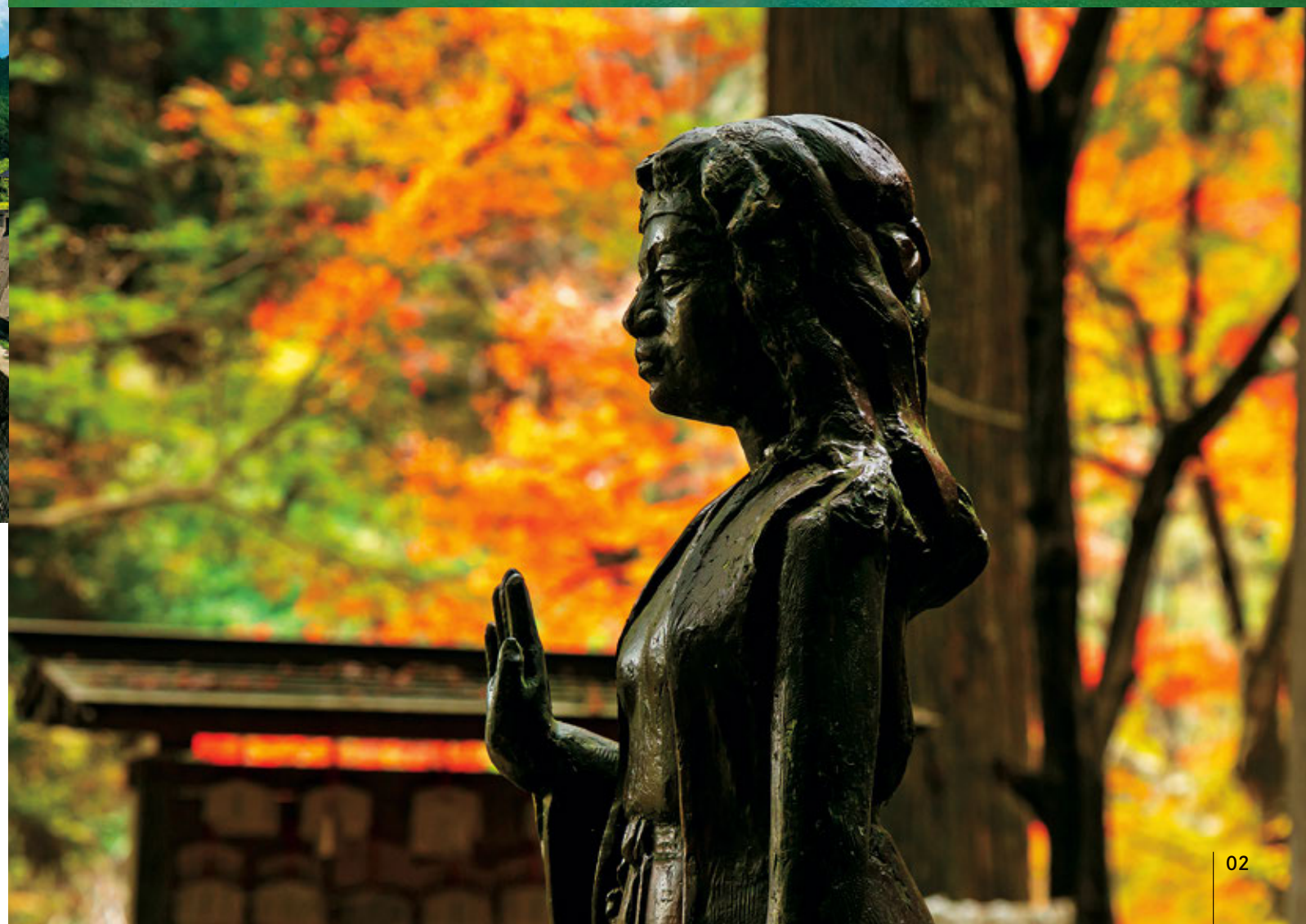
## navigation

1. 神々さえも惹きつける日向神峡  
(ひゅうがみきょう) / 2. 「八女」の  
地名の由来である八女津媛神を祀  
る八女津媛神社 / 3. いたるところ  
で耳を癒す川のせせらぎ / 4. 段々  
と連なる農の風景 / 5. 色鮮やかに  
枝垂れる黒木の大藤 / 6. 春の  
訪れをいち早く伝える谷川梅林

|   |   |   |
|---|---|---|
| 4 |   | 1 |
| 5 | 3 | 2 |
| 6 |   |   |



To the beautiful world of Yame City







# 70周年の 美しい八女の原風景 八女美

美しい風景を受け継ぐことは簡単なことではない。この風景を愛し、大切に守ってきた多くの先人たちの想いが現在の八女を美しく照らしている。



## navigation

1. 「ひふみよ橋」の一つ、三連の大瀬橋／2. 稲の実り寄り添う真っ赤な鹿里の彼岸花／3. 多くの人で賑わう八女福島の燈籠人形／4. 「あかり」は八女の象徴。職人が灯すあたたかな未来／5. 八女市の中央を流れる、産業と伝統工芸の根源、矢部川

|   |   |   |
|---|---|---|
| 3 |   | 1 |
|   |   | 2 |
| 5 | 4 |   |



## Profile

### 俳優 黒木瞳

八女市出身。宝塚歌劇団に入団2年目で、月組娘役トップとなる。これまでの映画作品において、WEIBO ACCOUNT FESTIVAL2022 最優秀主演女優賞受賞。

2023年6月公開映画「魔女の香水」では主演を務めた。映画監督として4作品を手がけ、2022年公開の「線香花火」では映画監督として八女市を舞台にメガホンをとった。近年の舞台「ルビンの壺が割れた」では脚本、出演した。

**三田村市長** 特に黒木町の人。笠原の避難所のみなさんは本当に喜んでいただいたと思います。昭和29年に八女市が誕生したんですが、それまで旧八女市は小さな村の集まりでした。長い歴史の中で、この地域は矢部川を挟んで、自然や伝統工芸など産物がとれる特色豊かな環境のいい地域だったと思っています。南北朝、

きありがたく思っております。  
**黒木瞳さん** 私は八女市の中でも黒木町というところで18歳まで過ごしましたが、その豪雨災害の時は、想い出の南仙橋が流れたということに驚いて、すぐ市長にお電話をして、何か私にできることがあればと。笠原だったり山内だったり実際見てみると、そこにどれくらい苦しんでいる方がいっぱいいるのか、わかりませんものね。

**三田村市長** 令和5年は八女茶発祥600年となる節目の年でした。令和6年は市制施行70周年を迎える記念すべき年です。様々な歴史を歩むなか、黒木瞳さんには折にふれ、特に、平成24年の災害時の対応など、いつもふるさとに心を寄せていただ

**黒木瞳さん** 本当においしいです。八女の玉露は全国茶品評会で日本一となる産地賞を23年間も受賞しているんですね。福岡の玉露、八女茶の玉露はかすかに薔の香りがする昔ながらの製法ですね。

**三田村市長** 八女の玉露を召し上がったいただきましたが、いかがでしたか。  
**黒木瞳さん** ふるさとにお招きいただき光栄です。

## Profile

### 八女市長 三田村統之

早稲田大学卒業後、昭和50年より八女市議会議員を2期務め、平成3年から福岡県議会議員を5期、平成17年には福岡県議会第67代副議長を務める。平成20年11月に八女市長に就任。令和2年11月16日から、現在4期目を務める。

## 市制70周年 特別対談

市制70周年を迎えたふるさと八女市への想いとはー。  
そして未来に描かれる飛躍の八女市とはー。  
三田村統之市長と黒木瞳さんによる特別対談。

# 黒木瞳さん と語る

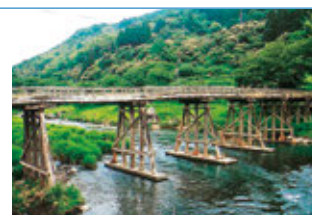
# 八女市の これまでと、 これからー。



黒木瞳さんと語る  
八女市のこれまでと、  
これから一。

#### 堀川バス

八女市本町に本社をおく堀川バスは、昔も今も多くの人の暮らしを運んでいる。



今はなき南仙橋  
平成 24 年 7 月の九州北部豪雨で流出した矢部川にかかる唯一の木橋だった。

八女の玉露を  
召し上げる  
黒木瞳さん



そんな八女市へ。

帰って来れる

大志を持って

一度出て行った人も

ふるさとにしたい。

誇りある

子どもたちにとって

次代を生きる

# Special conversation

黒木一族など歴史的な文化もたくさんありますし、芸術家もたくさんいらっしゃいます。

**黒木瞳さん** 八女は古墳も多いですし、歴史を紐解くと深いですね。

**三田村市長** そうなんです。この歴史文化が埋もれてはいけなくて、新生八女市になって最初に取り組んだのが交流事業です。南北朝時代の後醍醐天皇との関係で奈良県の吉野町、菊池一族との関係で熊本県菊池市など、全国に歴史の絆ができ、五條家の素晴らしい歴史も今また盛り上がっています。

**黒木瞳さん** 私たちも帰ると少しづつ、「八女」の名前の由来となった八女津媛神社や良成親王のお墓、五條家の金鳥の御旗を見せていただいたり、子どもの頃は知らなかった八女の文化や歴史のすばらしさを感じています。監督をつとめた「線香花火」の映画では、そんな歴史ある福島、黒木町、矢部川、白壁通りなど、ふるさとを撮影させていただき嬉しかったです。

**三田村市長** 瞳さんは子どもの頃、どんな遊びをしていましたか？

**黒木瞳さん** 小さい頃、南仙橋の下矢部川に、母がよく洗濯に行っていたんです。

**三田村市長** お母さんが洗濯に！

**黒木瞳さん** はい。だからいつも洗濯について行って、南仙橋の下で泳いでいたんです。小学生になると、大藤の前の矢部川で夏休み中泳いでいたね。山に登って、畑に行ったり、田植えも稲刈りもしたりして、牛もいたので藁を干して、藁を牛に食べさせて、茶摘みもしましたし、いろんな作業を手伝っていました。今思えば貴重ですよ。八女高校にはディーゼルカーや堀川バスで、間に合わない時は50ccの単車で通学していました。

**三田村市長** そういう経験がこの日本の大女優さんを育てたと。驚きです。瞳さんは、八女市の小学校などにも貢献いただいていますね。

**黒木瞳さん** NHKの「ようこそせんぱい」という番組で、黒木小学校の子どもたちにタップを教えたり、輝翔館からは、校歌を作ってほしいということで、歌詞を書いて、生徒さんたちが歌ってくれています。

**三田村市長** ありがとうございます。今私たち八女市は、第5次八女市総合計画のもと各施策に取り組んでいます。その中で一番の使命は、やはり子どもたちの育成、子育てだと思っています。ふるさとを愛し、

飛躍していきたいと思っています。

**黒木瞳さん** 八女市に元気があれば福岡県も元気になるし、福岡県が元気だと九州も元気になる。そういう意味で八女市から元気を発信していたら素敵だと思いますし、みんな一人ひとりがふるさとを愛する場所であってほしいと思います。

**三田村市長** 本当にそうですね。最後にぜひ、これからの次代を担う子どもたちにエールをいただけますか。

**黒木瞳さん** 自分の子ども時代はものすごく自由だったんですね。よく勉強して、よく遊んで、よく運動して、何もかも一生懸命やってきました。もちろん好きなことは見つけてほしいですが、好きなことが見つからなくてもいいから、一日一日を大切に、よく勉強してよく遊んでほしい。その中に必ず何か見つけていけると思います。





YAME CITY  
2014 - 2023  
写真と年表で振り返る  
激動の10年



2016年「平成28年」



戦後70周年記念事業「平和のつどい」



熊本地震への災害支援活動



「げんき館おおぶち」オープン



「いわいの郷」オープン



吉田町と災害時相互応援協定締結



「田崎廣助美術館」オープン



日米友好の木・ハナミズキ記念植樹



ヘリポート完成



合瀬耳納トンネル起工式



吉野町と友好交流都市へ



八女市、70周年の軌跡をたどる



2014 田崎廣助展覧会「東洋の心ーふるさと展」



「やめっこ未来館」オープン

- 2014 田崎廣助展覧会「東洋の心ーふるさと展」
- 八女市ドクターヘリポート（照明付）整備事業完成式典
- 八女市子育て支援総合施設『やめっこ未来館』オープン
- 八女市出身の桐明輝子さん、2014世界ジュニアアカデミー選手権大会出場
- 合瀬耳納トンネル起工式
- 奈良県吉野町と友好交流都市を締結
- 山本健吉資料室オープン
- 全国茶品評会玉露の部で農林水産大臣賞・産地賞受賞 煎茶4kgの部で産地賞受賞
- 九州オルレ八女コースオープン



2016 道の駅「たちばな」が重点「道の駅」に

- 2016 道の駅「たちばな」が重点「道の駅」に
- 「田崎廣助美術館」オープン
- 八女市矢部地区観光物産交流施設「杣のさと」オープン
- 八女市大洲体験交流施設「げんき館おおぶち」オープン
- 新教育委員会制度スタート・八女市教育大綱を策定
- 自然災害による被害・支援活動（熊本地震・市内で竜巻発生）
- 「スポーツ・健康づくり都市宣言」・チャレンジ2016参加
- 静岡県吉田町と「特産品交流連携に関する協定」を締結
- 三田村統之市長3期目スタート
- 福岡八女農業協同組合いちご部会農林水産祭内閣総理大臣賞園芸部門受賞
- 全国茶品評会玉露の部で農林水産大臣賞・産地賞受賞
- 八女市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定
- 八女市岩戸山歴史文化交流館「いわいの郷（さと）」オープン
- 「八女伝統本玉露」国の地理的表示（GI）登録
- 茶のくに旅行ツアー商品販売開始
- 全国茶品評会玉露の部で農林水産大臣賞・産地賞受賞
- 八女市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定
- 八女市岩戸山歴史文化交流館「いわいの郷（さと）」オープン
- 「八女伝統本玉露」国の地理的表示（GI）登録
- 茶のくに旅行ツアー商品販売開始
- 全国茶品評会玉露の部で農林水産大臣賞・産地賞受賞

70周年のあゆみ

2014年「平成26年」



2014-2023  
YAME CITY  
Anniversary



歩みを語る  
やべのり支配人  
轟 亮一さん

静かな矢部の自然のなかに  
生まれた賑わい拠点  
八女市の観光情報の発信と地域の特産物の販売等による観光客の誘客を目的とした観光物産交流施設としてオープン。目につく国道沿いになったことで、地域の人も、訪れる人の動きを肌で感じることができるよう施設になり、矢部への注目度が上がったと感じています。宿泊施設「奥八女別邸やべのり」とともに、矢部の賑わい拠点を守っていききたいですね。



「杣のさと」オープン

PICKUP







2020年「令和2年」



「やべのもり」オープン



「矢部清流学園」開校



国道442号改良工事（谷野虹夢橋竣工）



海外福岡県人会世界大会



「はやぶさ2」模型展示



合併10周年に高槻市と包括連携協定締結



「星の文化館」リニューアル



九州北部豪雨災害復旧事業竣工式



「合瀬耳納トンネル」完成



県内初義務教育学校「上陽北陽学園」



2017年「平成29年」



- 2019**
- 一般国道442号日向神地区道路改良工事竣工
  - （財）FM八女が日本版DMOに認定登録
  - 地域しごとづくり拠点施設「南仙荘」オープン
  - 「部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃をめざす人権擁護条例」の施行
  - 八女市岩戸山歴史文化交流館「いわいの郷」入館者10万人突破
  - 星の文化館で小惑星探査機「はやぶさ2」1/2サイズ模型の常設展示を開始
  - 海外福岡県人会が6年ぶりに八女市を訪問
  - 全国茶品評会玉露の部で農林水産大臣賞・産地賞受賞
  - 第21回商工会青年部主張発表全国大会優勝
- 2020**
- 新型コロナウイルス感染症総合支援対策事業の実施および相談・支援窓口の設置
  - 八女市合併10周年記念式典
  - 大阪府高槻市と「包括連携協定」を締結
  - 義務教育学校「矢部清流学園」の開校
  - 令和2年7月豪雨
  - 道の駅たちばな「お食事処招竹梅」オープン

- 2017**
- 移住・定住相談コーナー新設
  - 県内初の義務教育学校「上陽北陽学園」開校
  - 「星の文化館」・「茶の文化館」リニューアルオープン
  - 小中学校全校へ給茶機設置完了
  - 全国茶品評会玉露の部で農林水産大臣賞・産地賞受賞
  - 友好交流都市奈良県吉野町へ「黒木のフジ」を贈呈
  - 農林水産省「ディスカバー農山漁村の宝」優良事例選定
- 2018**
- 八女を舞台にした映画「野球部員、演劇の舞台に立つ」公開
  - 矢部村「木馬道と木場作林業」林業遺産に認定
  - 八女市健康ポイント事業開始
  - 平成30年7月豪雨（西日本豪雨）の支援活動（職員派遣）・北海道胆振東部地震の支援活動
  - 「奥八女別邸やべのもり」（矢部地区山村滞在施設整備事業）グランドオープン
  - 平成24年7月九州北部豪雨災害復旧事業竣工式
  - 市立の全小学校に電子黒板導入
  - 八女の伝統工芸とニューヨークデザインコラボ事業
  - 県道八女香春線「合瀬耳納トンネル」完成
  - 全国茶品評会玉露の部で農林水産大臣賞・産地賞受賞

歩みを語る  
道の駅たちばな  
松尾 精亮さん



旬の美味しい食材を通じて  
立花の魅力を伝えたい

「道の駅たちばな」には、ゆっくり休憩できるスペースがなかったのと併せて、せっかくの美味しい野菜や果物を残さず食べたい、というところから、食事処と加工場ができました。令和2年オープン以来、店舗の皆さんの頑張りで、売り上げや来場者が伸びています。旬やフルーツなど、旬の美味しい食材を通じて、立花の魅力をもっと伝えていきたいですね。



「お食事処招竹梅」オープン

PICKUP

歩みを語る  
茶の文化館  
古賀 佳代さん



お茶の奥深さで  
世代を超えて人を繋ぐ施設へ

平成29年の「茶の文化館」リニューアルでは、大きな決断として入館料を無料に。また時代のニーズとして「体験」に着眼し、体験工房のスペースを確立しました。中高年層に支えられた施設でしたが、若い世代の利用が増えたことを職員みんなが実感しています。意外と知らないお茶の深い味わいに触れていただき、世代を超えてお茶と人をつないでいきたいですね。



「茶の文化館」リニューアル

PICKUP





2023年「令和5年」



NEXT  
STAGE



寄口橋・大瀬橋・宮ヶ原橋が国の登録有形文化財へ



2024年完成の新庁舎



「べんがら村」リニューアル



全国茶品評会産地賞受賞



「八女本舗」リニューアル



ヤマエグループと企業立地協定締結



「杣人の家」国の登録へ



「八女つくりん」供用開始



カヌーで東京オリンピック



大洲区全国過疎地域連盟会長賞



「つながるバス停」オープン



ダニエル・建・イノウエ氏胸像除幕式



2021年「令和3年」

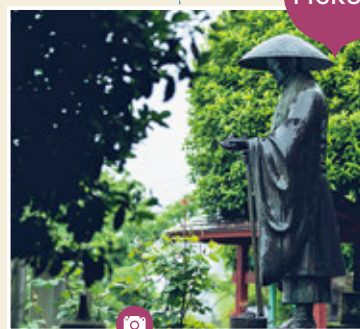


- コミュニティ通貫「まちのコイン（ロマン）」関係人口創出拠点「つながるバス停」スタート
- 八女市岩戸山歴史文化交流館「わいの郷」開館5周年記念事業
- 三田村統之市長4期目スタート
- 全国茶品評会玉露の部で農林水産大臣賞・産地賞受賞 かぶせ茶の部で産地賞受賞
- 「杣人の家」国登録有形文化財へ
- 2021  
●新型コロナウイルスワクチン接種事業及び新型コロナウイルス感染症総合支援対策事業の実施
- ダニエル・建・イノウエ氏胸像完成
- 第5次八女市総合計画および第2期八女市まち・ひと・しごと創生総合戦略がスタート
- 「八女つくりん」供用開始
- 八女市観光協会発足
- 「奥八女 焚火の森キャンプフィールド」完成
- 桐明輝子選手、カヌー競技で東京オリンピックに出場
- 黒木町大洲区が全国過疎地域連盟会長賞を受賞
- 全国茶品評会玉露の部・煎茶4kgの部で産地賞受賞
- 新庁舎建設事業始動
- 「アンテナショップ 八女本舗」リニューアルオープン
- 2022  
●五木寛之さんから書籍の寄贈ふるさと納税の寄附額が、初め
- て10億円突破
- 八女市独自の新型コロナウイルス感染症対策および物価高騰対策関連事業の実施
- 八女学院高校女子バレーボール部、春の高校バレーでベスト8の快挙
- 「やめし電子図書館」サービス開始
- 「べんがら村」リニューアルオープン
- ハワイ州との交流事業
- オンラインイベント「オクトーバー・ラン&ウォーク」に参加し、2部門で全国1位を獲得
- 八女福島地区、国の重要伝統的建造物群保存地区選定20周年
- 全国茶品評会玉露の部・煎茶4kgの部で産地賞受賞
- 2023  
●福岡の八女茶発祥600年を記念したイベント・PR事業を実施
- 上陽北浜学園の姉妹校ワシントンミドルスクール（ハワイ州ホノルル）を服部県知事訪問
- 7月豪雨により上陽町上横山地域等で甚大な被害
- 寄口橋・大瀬橋・宮ヶ原橋が国の登録有形文化財へ
- 農林水産省「SAVOR JAPAN（農泊食文化海外発信地域）」に認定
- 全国茶品評会玉露の部で農林水産大臣賞・産地賞受賞
- ヤマエグループホールディングス株式会社・八女市企業立地協定締結



歩みを語る  
霊巖寺住職  
日種 明道さん

600年もの間地域に守り継がれた霊巖寺の歴史  
栄林周瑞禅師がここでお寺を建てられてから私が18代目になりますが、600年もの間このお寺が残ったのは、八女茶の発祥の地として、住職が途切れていた間も地域の方、茶業組合の方、八女市が大事に守り継いでいただいたことが一番かと思っています。多くの方々から大変な思いで受け渡されたこの霊巖寺を私も住職の間大切に守っていききたいと思っています。



八女茶発祥の地「霊巖寺」

PICKUP



歩みを語る  
奥八女 焚火の森  
内川 加奈子さん

地元のみなさんの思いが込められた復興のシンボル  
平成24年の九州北部豪雨で被災したきのこ村キャンプ場。その賑やかさを復興のシンボルとして笠原に取り戻したいという地元の方の強い思いがありました。株式会社スノーピーク地方創生コンサルティングの協力のもと基本設計され、「焚火を囲むやさしい時間」というメインコンセプトのもと地元笠原産の八女杉を多用。木とのふれあいを大切にした施設となりました。



「奥八女 焚火の森キャンプフィールド」完成

PICKUP





# 飛の章

広大な八女の地を飛ぶ





## 黒木エリア

KUROGI AREA

市の南エリア。標高が高く、八女茶発祥の地として茶業が栄え、毎年献茶祭が行われる。藤も有名で「八女黒木大藤まつり」には多くの人が訪れています。



## 八女エリア

YAME AREA

八女インターを有する八女エリア。九州の交通拠点として栄え、職人技が息づく伝統工芸産業の集積地。八女中央大茶園では大規模な茶葉生産が行われています。



### HISTORY

▶八女茶発祥の地「霊巖寺」の歴史で知られる。良成親王が植えたと言われる黒木の藤は樹齢 630 年。また、黒木の町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区



1915 年頃の様子

に選定されており、交通面では、かつて国鉄矢部線の終点であった。五條家の金鳥の御旗など多くの文化財が残されている。文芸評論家石橋忍月、小説家安部龍太郎、俳優黒木瞳などを輩出している。

### HISTORY

▶約 1500 年前、八女丘陵には多くの古墳が築かれた。特に北部九州最大の前方後円墳である「岩戸山古墳」は、ヤマト王権に対抗した筑紫君磐井の墓とされている。



1955 年頃の様子

る。また、矢部川流域では、古くより「手漉き和紙」が製造され、手工業が花開いた。直木賞作家杉本章子などを輩出している。

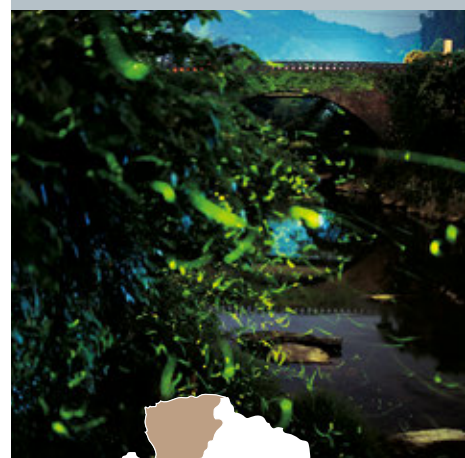




## 上陽エリア

### JOYO AREA

橋本勘五郎が手掛けた洗玉橋を含め、数多くの石橋が残るエリアです。星野川の上流から一連、二連と続く石橋は「ひふみよ橋」と呼ばれ、ホタルの地としても知られています。



## 立花エリア

### TACHIBANA AREA

九州有数のタケノコの産地、梅の産地として名高く、豊富な農産物がとれるエリアです。拠点となる道の駅たちばなは、全国直売所甲子園日本一の実績を誇っています。



### HISTORY

▶星野川の急流に沿って軒を重ねる上陽エリアには、元禄時代銅山があったとされている。最盛期には 800 人の鉱夫が働いていたといわれており、これが集落となっ



1920 年頃の様子

ていった。明治から昭和初期にわたりかけられた石橋は、四連の宮ヶ原橋を含め 12 基残されており、日本一の石工と呼ばれた種山石工の優れた技術と良質な八女産凝灰岩で造られ、全国に誇る八女の文化遺産である。

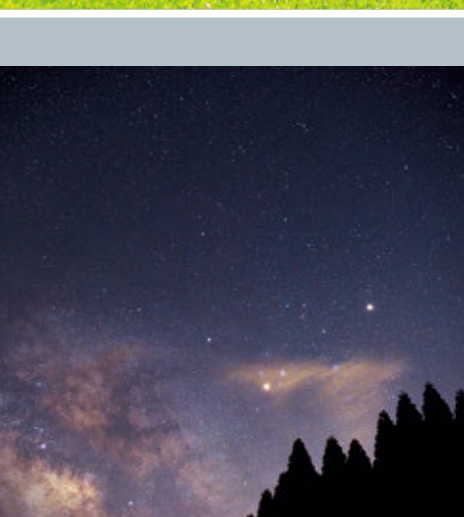
▶江戸時代、柳川藩によって築かれた矢部川堤防「千間土居」には、樹齢 300 年を越すクスの大木が残されている。また、藩御用窯として栄えた「男ノ子焼」を



1948 年頃の様子

まちづくりの一環として再興。柳川藩の特色を今なお伺い知ることができる。直木賞作家五木寛之、洋画家田崎廣助などを輩出している。





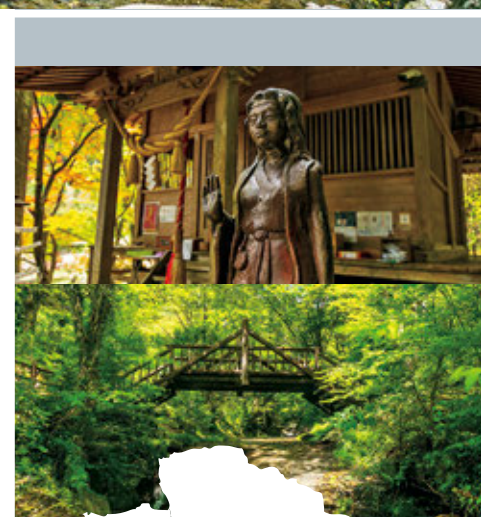
## 星野エリア HOSHINO AREA

日本で最も美しい村として、星空や石積み  
の棚田を誇るエリアです。九州最大級の天  
体望遠鏡がある星の文化館や玉露をもて  
なす茶の文化館は多くの人で賑わいます。



## 矢部エリア YABE AREA

八女市で最も山深いエリア。長い年月の  
中で生まれたダイナミックな自然の造形美  
を伺うことができ、奥八女として八女市の  
東の玄関口となっています。



### HISTORY

▶ほぼ全域が山間地であり、その標高を生かし先人が  
築いた石積み棚田や茶畑は歴史的価値が非常に高い  
とされている。また、日本各地の原爆の火の火種は星



1933年頃の様子

野村にあり、星野村出身の山本達雄が原爆投下後の広  
島で火を持ち帰ったことが起源とされており、星野の平  
和の塔にて現在も火を灯し続けている。

▶福岡県最高峰釈迦岳を有する矢部川の源流地区。日  
本書紀に、景行天皇が美しい山中に誰か住んでいるか  
地域の主に尋ねた際、「山中に女神あり。その名を八



1930年頃の様子

### HISTORY

女津媛といい、常に山中におる」と答えたことが記録さ  
れ、八女の地名の起りとされている。南北朝の動乱期  
は、天然の要害として、南朝方のとりてとなり、後征  
西將軍良成親王の御墓所がある。





## 08 男ノ子焼の里

柳川藩主の御用窯として栄えた男ノ子焼の窯や焼き物にふれる事ができる他、季節を感じる自然体験イベントが充実。昔ながらの茅葺き屋根で、農のある暮らしを感じられます。



## 07 道の駅たちばな

国道 3 号沿いに位置し、全国的に知名度の高い人気の道の駅。特にフルーツが充実しており、加工品やレストランで四季折々の食を楽しむ事ができます。



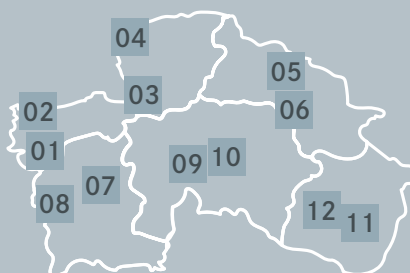
## 02 岩戸山歴史文化交流館 いわいの郷

岩戸山古墳を間近で見れるほか、527 年の磐井の乱、磐井一族の栄華が偲ばれる豊富な出土品にスポットを当てた歴史施設。体験イベントも充実しています。



## 01 べんがら村

2022 年にリニューアルオープン。温泉とクラフトビールをテーマに、地元の食材を使用した料理、体験を楽しめる地域密着型の観光複合施設です。



それぞれのエリアで  
自然や風土を生かした  
特色のある交流拠点が  
人と暮らしを  
つないでいます

# 地域交流拠点

AREA BRAND  
70 年目の八女を飛ぶ



## 10 奥八女焚火の森 キャンプフィールド

キャンプを通じて木とふれあい、木に学び、木でつながる場所。新しいキャンプの価値として、木育、徹底した美しい水回り、ベットとともに楽しめる空間を提供しています。



## 09 くつろぎの森 グリーンピア八女

広大な敷地に宿泊・スポーツ・レジャー・温泉機能を持つ総合施設です。四季を通じた様々な花や樹木を楽しめる他、福岡県で初めて認定された森林セラピー基地でもあります。



## 04 ふるさとわらべ館

龐大橋のすぐそば、自然豊かな場所にある、子どもと大人と一緒に遊び、学び、発見し、創造することを体験できる施設です。(臨時休館中)



## 03 ダニエル イノウエ ミュージアム

上陽町に縁のあるダニエル・建・イノウエ氏の出身地ハワイをテーマにしつつ、彼の功績を伝える展示ブースやカフェ、VRシアターなどを備えています。



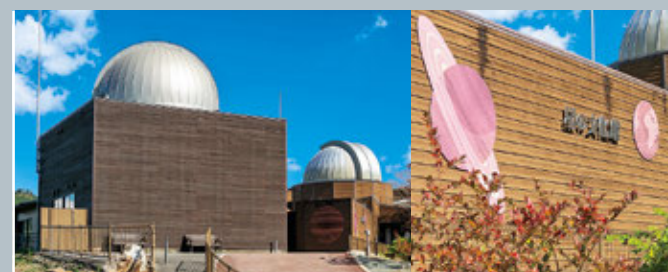
## 12 杣のさと

矢部地区の農林産物・加工品、お土産スペース、名物の日向神ダムカレーや將軍そばなど地元食材を使った料理が楽しめ、矢部の魅力を存分に味わえる施設です。



## 11 奥八女別邸 やべのもり

全 7 棟平屋造りの高級感溢れる離れ宿は、いずれも部屋の内装が異なり、静かな贅沢を楽しむことができる大人の隠れ別荘。地元の食材を使った美味しい料理を楽しめます。



## 06 星の文化館

九州最大の 100cm 反射望遠鏡を備え、2017 年リニューアルオープン。星野の美しい星空の中で、宇宙の神秘や広がりを感じることが出来る施設です。



## 05 茶の文化館

八女のお茶と、地元で採れる旬の食材を使った料理が味わえる食事処がある他、「抹茶碾き体験」や「手もみ緑茶作り体験」などお茶とふれあうことのできる施設です。





# 躍 の章

次代を創る八女人の活躍





令和 5 年度には、福岡の八女茶発祥600年祭式典など多くのイベントが開催されたほか、18年振りに福岡県で全国お茶まつりが開催され、八女市がメイン会場となった。

記念ロゴマーク



霊巖寺開祖・栄林周瑞が伝えた茶の栽培が、村の名主により広められたのが八女茶のはじまり。



霊巖寺開祖・栄林周瑞

# ハ女茶をつくる

# 躍進

八女市の飛躍には、常に「人」の支えがある。多くの八女人の努力と情熱が、ふるさとに光を降らせ、大きな八女の魅力となって、また次の時代の新しい八女市を切り拓いていく。



本当にいいものは必ず残る  
ハ女茶の未来は  
今を生きるつくり手  
ひとりひとりの手腕に  
託されている



量より品質を重視した八女茶は、葉の芽を少なくして葉を大きくしっかりと育てます。一般的な緑茶と比べて味が濃厚で日本有数の高級茶産地として全国に名を馳せています。

## ハ女茶の歴史



- 1423 名主・松尾太郎五郎久家が黒木町笠原に茶園を広める
- 1831 山間で茶栽培広まる
- 1879 玉露生産が福岡県で初めて行われる
- 1884 県茶業取締所(福岡町)をおく
- 1904 星野村で玉露の試製をむしう
- 1922 機械製茶が始まる(光友村)
- 1926 農事試験場茶業部をおく(岡山村)
- 1928 福岡県茶業組合を設立する
- 1947 全国製茶品評会を行う
- 1963 福岡県茶生産組合連合会が結成される/霊巖寺で献茶祭が始まる
- 1969 八女中央大茶園着工
- 1971 福岡県茶商工業協同組合を設立する/防霜ファンの普及はじまる
- 1982 福岡県八女茶手もみ保存会が発足する
- 1997 八女伝統本玉露の名称使用が始まる
- 2006 乗用型管理機対応玉露棚施設竣工する
- 2015 八女伝統本玉露が国の地理的表示(GI)の第5号に登録される
- 2023 全国茶品評会玉露の部で産地賞を23年間連続で受賞する/福岡の八女茶発祥600年祭を八女市で開催する



# 01

## 茶業

「八女伝統本玉露」は茶業として全国で初めてGI登録され、その品質を守っています。



### ● INTERVIEW VOICE

## ハ女茶発祥 600 年の誇り

第 77 回全国茶品評会玉露日本一

倉住 努さん

八女茶発祥600年。長い歴史の上にありますが、現在八女市では、「煎茶」を中心に、山間部では「玉露」が生産されています。生産量は全国の2%ほどですが、全国で茶産地がしのぎを削る中、こうして日本の八女茶といわれるまでに成長できたのは八女が茶の栽培に向いていたからだと思えます。水はけの良い地質、ほどよい気温の日較差、降水量。その恵まれた土台の上に先人のたゆまぬ努力がありました。それを私たちは受け継ぎ発展させていかねばなりません。八女茶を茶産地として守っていくためには、生産者、指導者、自治体の産学官がともに同じ方向を向き、支え合うことが重要です。八女茶をいかにつないでいくか。歴史に立ち合った私たちの使命です。今、全国の自治体では、わがまちの顔となる産物を新たに作るうと一生懸命です。八女には既にあります。きびしい状況ではありますが、がみんので頑張ります。





●やめっこ未来館

保育所と地域子育て支援センターを併設した複合施設。子育ての相談支援を行い、子育て親子の総合的な交流拠点となっている。

躍  
福祉

つくる

安心を

躍  
防災

●平成 24 年九州北部豪雨

平成 24 年 7 月 13 日明方から 14 日の昼にかけて八女市の降雨量として観測史上 1 位の豪雨が発生。道路や橋は損壊し、かつてない大災害となった。



03

●INTERVIEW VOICE

ひとりではない子育てを

子育てネットワークやめ代表  
大坪 陽子さん

子どもが生まれて半年でコロナが流行し、子育てもコロナも初めて。私は八女出身ではないので周りに友達がいない訳でもなく、子育てを相談できるママさんと知り合う機会としてサークル活動をやってみたいという気持ちがありました。月齢の近い子どもだと悩みが似てるんですね。ママ同士は年齢がバラバラでもつながり合うことができます。八女市の子育て環境はとても充実していて、「やめっこ未来館」は親子が交流できるみらい広場、子どもを預けることができるファミリー・サポート・センターと一時預かりがあります。先生や孫まで育てたベテランママさんなど信頼できる第三者の手を気軽に借りられる環境は本当にありがたく、私はそこで救われました。まだまだ周りには孤独で育てている方や情報を受け取れていない方がいます。自分が積極的に関わることによってサポートがあることを伝え、お世話になった恩返しができるかと思っています。



02

●INTERVIEW VOICE

「となりを守る」が八女を守る

八女市消防団長  
山下 繁敏さん

最も記憶に残っているのは平成 24 年 7 月の九州北部豪雨。当時私は副団長で八女市の消防団はまだ合併する前でした。黒木・星野では亡くなった方もおられ、忘れてはならない災害です。災害当日、急いでポンプ車で一軒一軒見回り、とにかく一人暮らしの方、高齢の方を避難させてくれと呼びかけました。川はうねって浸水は高みを増す中、玄関をこじあけての救出、逃げ遅れた方の誘導に必死に動いたことを鮮明に記憶しています。大災害は一生に一度あるかないかといわれていますが、今では毎年のように各地で起きています。平成 27 年に消防団は一つになり、地域を知り尽くした各地域の支団長が中心となって広い八女市を守っています。自助、共助、公助とありますが、まずは近所が一番。市民一人ひとりが隣近所をしっかりと見て、消防団員が現場をしつかりと守る。それが必ず組織として大きな八女市の安全安心に繋がるものだと思っています。





#### ●オリンピックへの道

2020 年東京オリンピックにて、カヌースプリントに桐明輝子さんが出場。BMX の松本翔海選手は、2022 年にフランスで開催された国際大会にて初優勝を遂げ、オリンピックへの出場が期待されている。

## 躍 スポーツ

つくる  
ひとを



05

#### ●INTERVIEW VOICE

### ハ女からつながる世界の空

BMX 日本代表

松本 翔海さん

BMX はジャンプ台を使って空中に飛び、技を競い合うスポーツです。はじめたのは7歳。ユーチューブを見て、やってみたいと思い、家族みんなではじめて、自然とこの世界にのめり込みました。専用の練習場などもちろんなく、父親手づくりのジャンプ台で、家の横の駐車場や地面で練習を重ねてきました。BMX の世界は、日本でも世界の舞台でもみんな仲が良いんです。敵対した空気ではなく楽しく練習をしたり、一緒に盛り上げようという空気があります。いま14歳で、学校に通いながら練習は1日平日3〜4時間、土日は8〜9時間飛ぶこともあります。目標はオリンピックで金メダルをとることです。ずっと暮らしているハ女市は、みんな優しく、過ごしやすいいところだと思います。地域の方もすれ違った時や、練習場の横から「がんばれ」と声をかけてくれます。周りの応援してくれている人や両親に感謝して頑張っていきたいです。

## 躍 教育

#### ●市内全市立学校にお茶の給茶機

八女茶のまちとして、市内全市立学校に給茶機を設置。地域で収穫された茶葉から、いつでも淹れたての温かいお茶、冷たいお茶を飲むことができる。



04

#### ●INTERVIEW VOICE

### ふるさとハ女の学びを誇りに

県内初 義務教育学校北湧学園 初代校長

現ハ女市立 福島中学校 校長

中島 賢二さん

ハ女市では、ふるさとハ女を愛する子どもを育てることを重点として掲げ、小学校では「ハ女ふる里学」、中学校では「ハ女茶学」という独自の地域教育に取り組んでいます。特にハ女茶学では、おいしいお茶の淹れ方をJA青年部に実践いただいており、これからハ女を出る子どもたちが様々な場所でハ女茶の美味しさを届けてくれると思います。また、福岡県内初の義務教育学校が誕生し、9年間同じ目標のもとで、より確かな連続性のある教育を実現しています。前例がなく試行錯誤でしたが、運動会で一年生から九年生までバトンを繋ぎ、小さな子どもたちが、居ながらにして、たくましく駆け抜ける9年後の自分に夢や憧れを抱く姿に、この義務教育学校の素晴らしさを確信しました。今は変化の時代といわれますが、時代に淘汰されず残り続けるハ女の歴史や伝統の価値をしっかりと感じ取り、新しい時代に果敢にチャレンジできる子どもに育ってほしいと願っています。





●全国過疎地域連盟会長賞受賞  
令和3年、大淵区の地域づくり活動が、  
過疎地域の先進的事例として認めら  
れ、全国過疎地域連盟会長賞（全国  
で6団体）を受賞。

## 躍 市民参画

つくる

賑わいを

躍

## 地域おこし

●八女市地域おこし協力隊  
平成25年度から地域おこし協力隊事  
業を開始。着任した隊員の定住・定  
着をサポートすることにより、福岡県内  
でも高い定住率を誇っています。



07

●INTERVIEW VOICE

### ピカピカの大淵づくり

大淵地区自治運営協議会

谷口 健一さん

平成元年から、りんご園を借りて始めた野外音楽祭「アップルコンサート」。平成22年から、耕作放棄の棚田を開墾し、花でいっぱいにするように始めた「コメ花プロジェクト」。少しずつ「大淵」の名が広まってきました。人はどうしても艶やかな都心に向きがちですが、自分たちには人に誇れる田舎があるんだということを発信していきたい。子どもたちが孫たちに自慢できて、孫たちも友達に自慢できるようなピカピカの大淵づくりをしよう。そしてはじめたのが「大淵献燈祭」です。地域の人たちと連日連夜灯籠を制作。今では、外から見ず知らずの人まで手伝いに来てくれる一大イベントに成長しました。ここ大淵地区は歴史を遡ると多くの血が流れた場所。私たちは献燈祭を通して、この地で失われた魂を慰め続ける使命と向き合いながら、誰もが心の中に生き続ける大事な人への想いを繋いでいける、そういう大切な場所にしていきたいと思っています。



06

●INTERVIEW VOICE

### ハ女と人とのつなぎ目

地域おこし協力隊

戸澤 理紗さん

令和6年3月現在、9人のメンバーで活動しているハ女市地域おこし協力隊。立花でみかんをつくったり、関係人口の創出のためにコミュニティ通貨をつかったイベントをしたり担当は様々。私は星野村の観光振興に配属されています。もともと東京の法政大学の卒業研究で星野村に来たのがはじまりです。いろんな方のお話を聞くなかで「がんばりよう星野村」で活動されている山口聖一さんに出会い、地域活性に関心が生まれ、そのまま星野村に残ってオンラインで大学院を卒業し、現在地域おこし協力隊として活動しています。自然の中でみんなで助け合って生きるライフスタイルが自分の肌に合うと感じたのが一番です。ハ女市は個性豊かで魅力的な場所。もともと関東の人にも知ってもらいたいですね。現在も大学とつながりがあり、毎年学生やその家族が来てくれます。そういう広がり大切に、ハ女市と人をつなげる役目になれたらと思っています。





●八女福島仏壇

八女福島仏壇は昭和 52 年通商産業大臣（当時）より伝統的工芸品に指定されています。

八女福島仙壇

八女福島仏壇仏具協同組合／漆工房岩弥

近松 敏夫さん

祖父の代から職人を継いでいますが地道な作業。特に漆塗りは下地の工程が良くないと、仕上がりが綺麗にいかない。一つ二つの手作業の積み重ねです。仏壇組合では、市役所新庁舎に飾る漆塗りの板を制作しました。みなさんに見てもらえるので組合員一丸となつて喜んで作業しました。なかなか厳しい仏壇業界ですが、漆に光を当てると、新しい可能性も見えてくると感じています。



八女福島仙壇

(株) 緒方仏壇店    ぎやらりー雅

緒方 伸さん

祖父が伝統工芸士で、職人さんたちの姿を見て育ちました。歴史ある仏壇を修復させていただく機会も多々あります。修復することで、次世代に受け継がれる仏壇。百年前と同じ工程が今もできると考えるとすごいことです。時代に添う八女福島仏壇をつくり続けたいです。職人さんが繋いできた技術を自分も受け継ぎ残していきたいと思います。



08

伝統工芸

八女提灯協同組合／（資）マル正伊藤本店

伊藤 正之さん

八女提灯は「灯」からスタートしています。ここまで八女提灯が栄えたのは、竹と和紙がある稀な土地であったから。その後、和紙が絹に変化しました。親父は職人気質で、型から自分で試行錯誤する姿を見て育ちました。お盆やお葬式など生活様式が変化する中、原点の「灯」として暮らしに寄り添うものになればと思います。組合全体で八女提灯を盛り上げたいですね。



●八女提灯

日本の盆堤灯として知られる八女提灯は、約 200 年の伝統を誇り、経済産業省指定伝統的工芸品に指定されています。



八女提灯

Made in yame



八女提灯

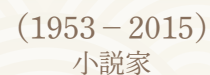
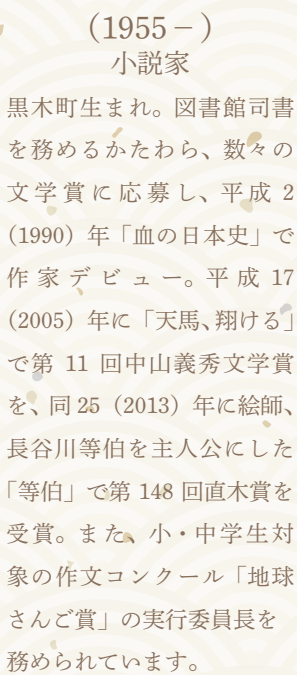
(有) シラキ工芸

増永 葵さん

三人の子育てをしながら働き先を探していた時、偶然提灯の絵師募集があり未経験で飛び込みました。社長に「大丈夫。練習したら必ず描ける。でもただ描くだけでなく伝統工芸士を目指せ」と言われ、ひたすら描き続けて、今年ついに伝統工芸士の認定を受けることができました。長い八女提灯の歴史を受け継いでいることは本当に誇りです。使う方に寄り添った時代に合う柄や色合いを出していきたいです。







八女市生まれ。昭和54  
(1979)年に大学院の修士論文で扱った儒学者、寺門静軒を描いた小説「男の軌跡」で作家デビュー。江戸を舞台にした時代小説で人気を集め、平成元(1989)年に「東京新大橋雨中図」で第100回直木賞を、平成14(2002)年に「信太郎人情始末帖」シリーズ第一作「おすず」で2002年度中山義秀文学賞を受賞しています。



立花町生まれ。福島高校（八女市）時代は新聞部の編集長を務め、連載小説等を執筆。早稲田大学中退後は、編集者、作詞家、ルポライターなどを経て、昭和 41（1966）年に『さらばモスクワ愚連隊』で作家デビュー。翌年に「蒼ざめた馬を見よ」で第 56 回直木賞を受賞。91 歳を迎えた現在も日本文壇の第一線で活躍されています。また、令和 3（2021）年には、創作の過程で参考とした書籍約 320 冊が八女市に寄贈されました。



長崎市生まれ。豊かな学識を背景に、古典から現代文学まで論じた文芸評論家。黒木町出身の作家・文芸評論家、石橋忍月の子息で、日本文藝家協会の会長を務めました。八女市には墓所と妻で俳人の石橋秀野と同じ石を分け合った夫婦句碑があります。夫婦句碑の建立に際して、親交のあった歌手のさだまさしさんは「夢しぐれ」という曲をつくりました。



立花町生まれ。自然の風景を日本的な表現で描いた洋画家。立花町に生まれてフランスに学び、帰国後、有島生馬を中心とする芸術家団体「一水会」の創設に参加。阿蘇山をはじめ、日本の山を題材にした風景画を得意とし、日展の常任理事も務めました。平成 28 (2016) 年には、その顕著な功績を称え、田崎作品を常設展示する「八女市田崎廣助美術館」が新設されました。



久留米市に生まれ、フランスに留学して中間色による独自の色調を身につけました。帰国後、「東洋のバルビゾン」と呼んで八女の自然と風土を愛し、アトリエを建てて 38 年間制作に励み、郷土文化の発展に大きく貢献しました。毎年文化の日には、八女公園にある銅像前で「帰居祭」が開かれ、献茶などが行われます。



坂本繁二郎

さかもとはんじろう

## 文化勲章受章者





message

## 市制施行70周年と合併15周年を祝う

八女市が誕生して70周年を迎えられ、また、合併から15周年を迎えられますこと、誠にとてもとうとうでございます。

本市の歴史を振り返りますと、昭和29年に周辺の3か村と合併し、八女市が誕生しました。その後、平成18年10月1日に八女郡上陽町と、さらに平成22年2月1日に八女郡黒木町、立花町、矢部村、星野村との合併により、県内で北九州市に次ぐ約482km<sup>2</sup>の面積を有する市となりました。

これまで、市民の皆様や関係各方面のご支援等により、生活環境の整備を進めるとともに、教育、福祉等あらゆる面での充実に努めてまいりましたが、中山間地域の過疎化が進み、少子高齢化への対応や地域公共交通のあり方など多くの課題を抱えています。市議会、自治体の自己決定と自己責任を基本に、これらの課題を市民の皆様と連携を密にし、市執行部とともに市政の進展のため、さらに努力してまいります。

また、平成24年7月の九州北部豪雨で八女市も大きな被害を受けましたが、それ以降も、毎年のように災害が起きており、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

開かれた議会、市民とともに歩む議会、市民に信頼され存在感のある議会をめざすことを謳った「八女市議会基本条例」の理念に基づき、円滑な議会運営に努めるとともに、議会機能の一層の活性化・充実強化に取り組んでまいります。

市制施行70周年と合併15周年に臨み、八女市が大きく飛躍し続けるよう心よりお祈りし、お祝いのごあいさついたします。

八女市議会議長 橋本 正敏



message

## 八女市の未来によせて

昭和29年4月1日に八女市が誕生し、今年で市制施行70周年を迎えました。また、平成18年に上陽町、平成22年に黒木町、立花町、矢部村、星野村との合併を経て、来年2月には合併15周年を迎える節目の年でもあります。

本市は、矢部川、星野川の2本の清流とともに肥沃な大地に恵まれ、八女茶をはじめとする農産物の生産地となり、また、歴史多き地域として伝統と文化を育み発展してきました。

特に合併からの15年は、各地域の魅力を活かし、八女市全体としてまとめ、一つの市として醸成する日々でありました。また平成24年7月には九州北部豪雨により甚大な被害を受け、そこからの復旧・復興に取り組んだ月日でもありました。多くの方々にご支援とご協力をいただき、被災した地域が新たに生まれ変わる姿を目の当たりにし、あらためて八女市の魅力を再認識しているところです。

また、本誌のなかでも一部紹介していますが、これからの八女市を担うべく活躍されている方々がたくさんおられます。行政としても、この市制施行70周年・合併15周年を契機として、これからもふるさとに誇りと愛着を抱き、ともに未来へ飛躍する八女市を目指すため、さまざまな施策を実施してまいります。第5次総合計画の将来都市像である「ふるさとの恵みと誇りを未来につなぐ安心と成長のまち八女」の実現に向け、今後市民の皆様との協働によるまちづくりを推進してまいりますので、今後ともより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

八女市長 三田村 統之

### 歴代首長

| 八 女 市 |    |         |        |  |
|-------|----|---------|--------|--|
| 中島 一之 | 初代 | S29.4~  | S30.4  |  |
| 服部 寅雄 | 2代 | S30.5~  | S34.4  |  |
| 主計 貞二 | 3代 | S34.5~  | S38.4  |  |
|       | 6代 | S48.1~  | S52.1  |  |
| 末金 傳一 | 4代 | S38.5~  | S39.12 |  |
| 牛島 節二 | 5代 | S40.1~  | S48.1  |  |
| 斉藤 清美 | 7代 | S52.1~  | H5.1   |  |
| 野田 国義 | 8代 | H5.1~   | H20.9  |  |
| 三田村統之 | 9代 | H20.11~ |        |  |

| 黒 木 町 |    |        |       |  |
|-------|----|--------|-------|--|
| 内藤 勘藏 | 初代 | S29.4~ | S41.4 |  |
| 大橋留三郎 | 2代 | S41.4~ | S44.2 |  |
| 川島 稔  | 3代 | S44.2~ | H元.2  |  |
| 横溝彌太郎 | 4代 | H元.2~  | H17.2 |  |
| 小川 光吉 | 5代 | H17.2~ | H22.1 |  |

| 立 花 町 |    |        |       |  |
|-------|----|--------|-------|--|
| 中村 次平 | 初代 | S30.5~ | S34.4 |  |
| 平島 大勝 | 2代 | S34.5~ | S38.4 |  |
| 中尾 順藏 | 3代 | S38.5~ | S50.4 |  |
| 田中 近作 | 4代 | S50.5~ | S54.4 |  |
| 甲木 安英 | 5代 | S54.5~ | S58.4 |  |
| 堤 菅雄  | 6代 | S58.5~ | H6.3  |  |
| 鶴木 久義 | 7代 | H6.4~  | H14.4 |  |
| 田中 礼助 | 8代 | H14.4~ | H22.1 |  |

| 上 陽 町 |    |        |       |  |
|-------|----|--------|-------|--|
| 小川 秀木 | 初代 | S33.4~ | S37.4 |  |
|       | 3代 | S41.4~ | S57.4 |  |
| 井上 常雄 | 2代 | S37.4~ | S41.4 |  |
| 川口 義則 | 4代 | S57.4~ | H6.4  |  |
| 牛嶋 剛  | 5代 | H6.4~  | H18.9 |  |

| 矢 部 村 |     |         |        |  |
|-------|-----|---------|--------|--|
| 坂本虎之助 | 初代  | M22~    | M37    |  |
| 宮内 萬吉 | 2代  | M38.3~  | T6.1   |  |
| 坂本鐵之進 | 3代  | T6.2~   | S7.12  |  |
| 田中 穆  | 4代  | S8.6~   | S21.10 |  |
| 轟 政次郎 | 5代  | S22.4~  | S38.4  |  |
| 江田 勝  | 6代  | S38.5~  | S50.4  |  |
| 若杉 文夫 | 7代  | S50.5~  | S58.4  |  |
| 若杉 繁喜 | 8代  | S58.5~  | H8.5   |  |
| 栗原 照幸 | 9代  | H8.6~   | H12.5  |  |
| 原嶋 貞夫 | 10代 | H12.6~  | H16.5  |  |
| 中司 謙治 | 11代 | H16.6~  | H21.9  |  |
| 田島富士雄 | 12代 | H21.10~ | H22.1  |  |

| 星 野 村 |     |         |        |  |
|-------|-----|---------|--------|--|
| 高木 良一 | 初代  | M22.5~  | M38.9  |  |
| 高木好太郎 | 2代  | M38.11~ | M42.11 |  |
| 今村 和方 | 3代  | M42.11~ | T15.2  |  |
| 高木 賢之 | 4代  | T15.5~  | S5.5   |  |
| 西田 七郎 | 5代  | S5.6~   | S13.6  |  |
| 江頭 一郎 | 6代  | S14.12~ | S18.12 |  |
| 高木 良之 | 7代  | S18.12~ | S21.12 |  |
|       | 9代  | S34.5~  | S37.7  |  |
| 西田 定夫 | 8代  | S22.4~  | S34.4  |  |
| 橋爪喜三郎 | 10代 | S37.9~  | S49.9  |  |
| 谷口 俊一 | 11代 | S49.9~  | S56.6  |  |
| 倉住 茂  | 12代 | S56.7~  | S62.6  |  |
| 高木 万藏 | 13代 | S62.7~  | H7.7   |  |
| 松永 雅男 | 14代 | H7.7~   | H15.7  |  |
| 藤崎 正昭 | 15代 | H15.7~  | H19.7  |  |
| 高木 良之 | 16代 | H19.7~  | H22.1  |  |

| 八 女 市 |     |         |        |  |
|-------|-----|---------|--------|--|
| 末金 傳一 | 初代  | S29.4~  | S38.4  |  |
| 近藤 正實 | 2代  | S38.5~  | S42.5  |  |
| 三浦 智典 | 3代  | S42.5~  | S46.5  |  |
| 斉藤 清美 | 4代  | S46.5~  | S52.1  |  |
| 秋山 道太 | 5代  | S52.2~  | S54.5  |  |
| 黒岩 省三 | 6代  | S54.5~  | S56.6  |  |
|       | 8代  | S58.5~  | S62.4  |  |
| 大坪 重敏 | 7代  | S56.6~  | S58.5  |  |
|       | 9代  | S62.5~  | H3.5   |  |
| 上村 正記 | 10代 | H3.5~   | H7.5   |  |
| 中國 一  | 11代 | H7.5~   | H11.5  |  |
| 樋口安栄次 | 12代 | H11.5~  | H15.5  |  |
| 平井 覚一 | 13代 | H15.5~  | H19.5  |  |
| 武田 忠匡 | 14代 | H19.5~  | H20.10 |  |
| 松延 外喜 | 15代 | H20.12~ | H23.5  |  |
| 井上 賢治 | 16代 | H23.5~  | H25.6  |  |
| 川口 誠二 | 17代 | H25.6~  | R元.5   |  |
| 角田 恵一 | 18代 | R元.5~   | R5.5   |  |
| 橋本 正敏 | 19代 | R5.5~   |        |  |

| 黒 木 町 |     |        |       |  |
|-------|-----|--------|-------|--|
| 長野 信一 | 初代  | S29.4~ | S30.3 |  |
| 松木富士雄 | 2代  | S30.4~ | S40.6 |  |
| 堤 米一  | 3代  | S40.6~ | S42.4 |  |
| 川島 稔  | 4代  | S42.5~ | S44.1 |  |
| 松尾 要  | 5代  | S44.2~ | S49.9 |  |
| 緒方 武磨 | 6代  | S49.9~ | S54.4 |  |
| 似吹 喜藏 | 7代  | S54.5~ | S62.4 |  |
| 横溝 正  | 8代  | S62.5~ | H元.2  |  |
| 内藤 義彦 | 9代  | H元.2~  | H3.4  |  |
| 鍋島 勝  | 10代 | H3.5~  | H7.4  |  |
| 八田 健作 | 11代 | H7.5~  | H11.4 |  |
| 松野 萬吉 | 12代 | H11.5~ | H15.4 |  |
| 堀下 清隆 | 13代 | H15.5~ | H16.6 |  |
| 草場雄二郎 | 14代 | H16.6~ | H19.4 |  |
| 松木 道  | 15代 | H19.5~ | H22.1 |  |

| 立 花 町 |     |         |       |  |
|-------|-----|---------|-------|--|
| 井上喜太次 | 初代  | S30.4~  | S30.9 |  |
| 平島 大勝 | 2代  | S30.10~ | S34.4 |  |
| 牛島 廣次 | 3代  | S34.5~  | S38.9 |  |
| 田中 近作 | 4代  | S38.10~ | S42.9 |  |
| 川崎 徳康 | 5代  | S42.10~ | S46.9 |  |
| 小倉 賢  | 6代  | S46.10~ | S54.4 |  |
| 堤 菅雄  | 7代  | S54.5~  | S58.4 |  |
| 大塚 高行 | 8代  | S58.5~  | S58.9 |  |
| 松尾 千好 | 9代  | S58.10~ | S62.9 |  |
| 入江 貞夫 | 10代 | S62.10~ | H3.9  |  |
| 鶴木 久義 | 11代 | H3.10~  | H6.4  |  |
| 原 和男  | 12代 | H6.5~   | H9.6  |  |
| 山口 茂春 | 13代 | H9.7~   | H11.9 |  |
| 田中 礼助 | 14代 | H11.10~ | H14.3 |  |
| 小倉 常喜 | 15代 | H14.5~  | H19.9 |  |
| 朽網 英文 | 16代 | H19.10~ | H22.1 |  |

| 上 陽 町 |     |         |        |  |
|-------|-----|---------|--------|--|
| 久木原宇藏 | 初代  | S33.5~  | S37.4  |  |
| 久木原政成 | 2代  | S37.5~  | S39.5  |  |
| 川口 武雄 | 3代  | S39.5~  | S41.4  |  |
| 角田 茂  | 4代  | S41.5~  | S43.2  |  |
| 小川 亀吉 | 5代  | S43.3~  | S45.4  |  |
| 井上 嘉晴 | 6代  | S45.4~  | S49.4  |  |
|       | 9代  | S57.5~  | S59.6  |  |
| 井上 繁行 | 7代  | S49.5~  | S55.12 |  |
| 久間 茂信 | 8代  | S55.12~ | S57.4  |  |
|       | 11代 | S61.5~  | H2.4   |  |
| 荒川 隆二 | 10代 | S59.6~  | S61.4  |  |
| 上野 重人 | 12代 | H2.5~   | H10.4  |  |
| 西村 重利 | 13代 | H10.4~  | H13.5  |  |
| 川口 正博 | 14代 | H13.5~  | H14.4  |  |
| 小川 健之 | 15代 | H14.5~  | H18.4  |  |
| 久間 一正 | 16代 | H18.5~  | H18.9  |  |

| 矢 部 村 |     |        |       |  |
|-------|-----|--------|-------|--|
| 小川 初次 | 初代  | S22.5~ | S26.4 |  |
| 松尾 虎吉 | 2代  | S26.5~ | S30.4 |  |
| 原島千代吉 | 3代  | S30.5~ | S34.4 |  |
|       | 6代  | S42.5~ | S50.4 |  |
| 川島 真純 | 4代  | S34.5~ | S38.4 |  |
| 宮原 茂樹 | 5代  | S38.5~ | S42.4 |  |
| 小川 正  | 7代  | S50.5~ | S54.4 |  |
| 高山 三郎 | 8代  | S54.5~ | S58.4 |  |
| 中司 政行 | 9代  | S58.5~ | H3.4  |  |
| 吉開 正行 | 10代 | H3.5~  | H11.4 |  |
| 仁田原石義 | 11代 | H11.5~ | H19.4 |  |
| 栗原 吉平 | 12代 | H19.5~ | H22.1 |  |

| 星 野 村 |     |        |       |  |
|-------|-----|--------|-------|--|
| 田辺 伍市 | 初代  | S22.5~ | S26.4 |  |
| 橋爪喜三郎 | 2代  | S26.5~ | S37.8 |  |
| 石橋 角藏 | 3代  | S37.9~ | S42.4 |  |
| 谷口 俊一 | 4代  | S42.5~ | S49.8 |  |
| 倉住 茂  | 5代  | S49.9~ | S54.4 |  |
| 高木 等  | 6代  | S54.5~ | S58.4 |  |
| 川崎 末弘 | 7代  | S58.5~ | H3.4  |  |
| 松永 雅男 | 8代  | H3.5~  | H7.4  |  |
| 高木眞一郎 | 9代  | H7.5~  | H11.8 |  |
| 内藤 惇  | 10代 | H11.8~ | H15.6 |  |
| 高木 良之 | 11代 | H15.6~ | H19.6 |  |
| 高木 俊之 | 12代 | H19.7~ | H22.1 |  |

### 歴代議長